

宇部市健康づくり推進審議会（令和7年度第2回）開催にかかる報告書

- 1 日時 令和8年（2026年）2月3日（火）19時00分～20時30分
- 2 場所 保健センター 1階 健診ホール
- 3 出席者
 - (1) 審議会委員 13人
オブザーバー 1人（教育機関）
 - (2) 事務局 10人
健康福祉部 中村部長、内田次長
健康増進課 井上課長、江本主幹、實安副課長
西村係長、福永係長、武田係長、中村、村上

- 4 議題
健康づくり計画策定に向けた生活習慣アンケート案について
受動喫煙対策について
宇部市新型インフルエンザ等対策行動計画について
令和7年度の主な施策の進捗状況等について

- 5 配布資料
次第
議題1
議題2
議題3
その他資料

6 概要（会議録）

健康づくり計画策定に向けた生活習慣アンケート案について

（事務局）【配布資料に沿って説明】

（委員）資料1-1 設問29の回答項目3について、口腔洗浄器等とあるが市民が聞きなれない可能性があるため補足をつけてもう少し明確にした方が良い。

（委員）資料1-1の野菜摂取量を表す写真の文字や写真が見つらいと感じたため見やすくした方が良い。

（委員）食事の実態調査において、阻害因子を把握するためには高齢者の低栄養リスクを探る設問や食欲の有無、体重減少についての設問が必要。食事が足りているかどうか判断するには、体重や食欲の変化しかないため、設問として追加すべきではないか。また若年層の痩せが問題であり、欠食数や補食についての設問も重要であるため追加すべきではないか。

(委員) 資料 1-1 設問 51 の地域の人たちについてどのような人をイメージしているのか。近隣住民や民生委員、友人等幅広く捉えることができているため工夫してほしい。女性の健康づくりにおいて乳房を意識した生活習慣啓発をしていると思うが、実態についても追加してほしい。資料 1-1 設問 2 について、60 代以降は 5 歳刻みで分類しているが、年齢を特定した方が分析しやすいのではないか。

(事務局) 参考にさせてもらいたい。

(委員) 資料 1-1 設問 10 について長時間の座りっぱなしは身体に悪影響を及ぼすとあるが、身体的に障害がある人に対して悪影響という表現は不適切であるため、負担がかかる等に表現を工夫するべき。資料 1-1 設問 37 の受動喫煙の機会について、ほかの設問と比較して複数回答になる可能性があるため答えにくい。また、5 月にアンケートを実施すると新川市まつりの影響を受けるのではないかと。新川市まつりで多くの方が喫煙するためバイアスがかかる可能性がある。資料 1-2 設問 11 について、どの回答も正しいが一つしか選べないのは何か意図があるのか。

(委員) 資料 1-1 身体活動・運動の設問は、運動ガイド 2023 を参考にしていると思われる。この指標の中に「座りっぱなしを防ごう」という記載があり、その他に国が推奨している事項として生活の中で動こうというのが大まかな捉え方である。目安としては筋力トレーニングを一週間に二回以上行うことを推奨している。しかしアンケートの中で筋力トレーニングについての設問がない。筋力トレーニングと有酸素運動をミックスして行うと死亡率が低下することが明らかになっているため設問として追加を再考してほしい。

資料 1-2 設問 8 において、様々な捉え方ができると思う。例えば、娯楽としての動画視聴やゲーム、調べもの等でパソコンを使用する場合等、スクリーンタイムの長さが一概に悪いとは言えないため、内容の補足や、設問を増やすことも検討してほしい。また設問 6 において、睡眠時間が短いことが前提に感じられるが、しっかりと睡眠をとっても起きられない子もいるため、起きるのがつらいと睡眠時間が短いとは限らないのではないかと。

(委員) 障害がある人はこれを読まないと思う。字としてはわかるが振り仮名を振っていないため何を書いているか理解できない。支援者等が、一緒にアンケートに答える場合、回答を促しがちなため、本人の意見を捉えられない可能性がある。振り仮名の追加や文章を短くするなどして合理的配慮に努めてほしい。

- (委員) 自治会の活動が衰退しており、参加するにはふれあいセンターや市民センターに出向く必要がある。イベントに参加したいと思ってもらうにはどうしたらよいか、なぜ自治会の活動に参加しないか問う項目が必要と感じた。
- (委員) 小・中学校でアンケートをとる際に Sigfy を活用しているが、全員が見ない。回答は母数に対してどのくらいの割合なのか。回答している人は関心を持っていると思うが、関心を持たずスルーしてしまう人が多いため、偏ってしまうのではないかと。
- (委員) 地域活動の観点から、資料 1 問 51 において感覚的に比較する対象がなければ何を表しているかわかりづらい。宇部市は山口県内でも地域の人とのつながりが弱く、10 年前頃から比較するとさらに低下している。
- (事務局) 資料 1-1 問 51 は山口県のアンケートと全く同じ内容にしている。宇部市として正確な数値を確認し、比較を行いたいため県と同じ設問で集計したいと考えている。

受動喫煙対策について

- (事務局) 【配布資料に沿って説明】
- (委員) 条例案について事業者と施設管理者の責務が努力義務になっているが義務にするのは難しいのか。義務と努力義務ではインパクトが違うため義務にすることを希望する。
- (事務局) パブリックコメント等踏まえて検討させてほしい。
- (委員) 受動喫煙防止区域、喫煙禁止区域はどのように決めたのか。
- (事務局) 常盤通り周辺はウォークアブル区域に指定しており、今後、人が集まる場所となる。バス停等のタバコのポイ捨てが気になるという意見もあり、望まない受動喫煙を無くしていこうということで決定した。
- (委員) 受動喫煙防止区域や喫煙禁止区域について市民が理解しづらいのではないかと。
- (事務局) 道路等の公共の場所については、受動喫煙しないように配慮をお願いし、今後整備するウォークアブル区域については受動喫煙を防止する区域と、市内の公共の場所よりも一段階強い制限を設ける。あと、ウォークアブル区域の中の国道や

公園、市施設等については喫煙を禁止するという方針で考えている。条例等の内容については、市民を対象とした説明会を実施するほか、現地に防止や禁止区域について分かりやすい標識等も設置していく予定である。

(委員) 違反者の対応についてはどう考えているのか。

(事務局) 指導を行うこととしている。禁止エリアでの喫煙について全くないとは考えていないが、当面は担当職員が見回りするなどして状況把握の上指導していきたい。

(委員) 他市で喫煙防止の取組を行っており、警察 0B の出動や罰則もあった。市職員が反則者に対して強く注意できるのか。

(事務局) 現在の案では罰則を設けていないが、2年後に現状を確認し、必要と判断すれば罰則を設ける可能性もある。

(委員) たばこは税財源であるため仕方ないという意見も多くあると思うため喫煙については整理が必要。中心街にシフトしすぎており、子どもへの教育推進とあるが、子どもに対する環境整備等ではないのか。ただ、エリアに小・中学校がないのがどうか。

(委員) 喫煙について、市の出前講座利用後、1、2人減少したが喫煙者を減らすことは本当に難しい。真面目に禁煙に取り組んでいる社員から、3回喫煙したら減給等の処分を求める意見があったため、一段階落とした警告処分を行うこととした。2年の間にルールを守っている善良な市民だけが我慢するようになるのではないかと。事業者の責務についてももう少し考えてほしい。

(委員) 学校でも全員が過ごしやすくなるよう校則の見直しを行っている。エリアについてわかりやすくすると分煙できるのではないかと。現状の喫煙者数を把握することで2年後どのくらい減ったか確認できるのではないかと。

宇部市新型インフルエンザ等対策行動計画について

(事務局) 【配布資料に沿って説明】

(委員) 素案の内容について意見を提案する中でどの範囲で公開して良いか。

(事務局) 範囲は決めていないため、広く意見頂戴したい。

(委員) 素案についてデータ頂戴したい。

(委員) 審議会後データ送付する。

(委員) 県と連動しているということだが、医療・休日診療所に関する記載はどこにあるか。

(事務局) 市として医療という項目の設定がないため、第7章の市民生活及び市民経済の安定の確保の項目へ記載している。

令和7年度の主な施策の進捗状況等について

(事務局) 【配布資料に沿って説明】

(委員) 意見なし

(閉会)